

毎  
日

ワクチンの接種  
野田市見合わせ

子宮頸がん

千葉県野田市は18日、子宮頸がんワクチンの定期接種を原則見合わせることを決めた。接種後に体に痛みを訴える中高生が相次いでいるとして厚生労働省の専門家検討会が

14日、積極勧奨を控えることを決めたが、さらに踏み込んで市内40の医療機関に接種見合わせを通達した。期間については市は「安全性について結論が出るまで」と説明している。市によると、接種を強く希望する市民には、保健センターでワクチンの有効性とリス

クを説明した後、接種を受けてもらうという。予防接種法は市町村長に定期接種を行うよう義務付けているが、厚生省は「希望者に機会を確保しており、違反とは言えない。野田市には市民に適切に周知するよう求めた」と話している。

【橋口正】

2013-6-19